

名古屋大学《未来社会創造機構・特任助教又は研究員》公募要領

1	募 集 件 名	特任助教あるいは研究員の公募	
2	所 属	未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所	
3	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] ・マテリアルイノベーション研究所で令和3年度から進める産学連携プログラム（NEDO：電気自動車用革新型蓄電池開発、NEDO：ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業）および現在進行中の産学連携プログラム（愛知県重点課題：EV用材料・特性データベース構築とAI/MI並びにIoT応用）、OPERA（物質・エネルギーリノベーション共創コンソーシアム）において、電子銃蒸着装置による新しい5元系電解質の開発、液相法による硫化モリブデン単相二次元膜の開発、構造データ・プロセスデータとデバイス性能のインフォマティックス解析、SEM・TEM像等のデータクレンジング手法の開発等に関わる業務	
		[勤務地] 愛知県名古屋市千種区	
		[募集人員] 特任助教又は研究員 若干名	
		[着任時期] 2021年6月1日以降できるだけ早い時期	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	工学
		小分類	マテリアル工学
5	勤 務 形 態	常勤 令和4年3月31日まで（プロジェクト期間は令和8年3月31日（最長）まで。成果に応じて年度ごとに更新）	
6	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・特任助教を希望する場合は、博士の学位を有している者 ・研究員を希望する場合は、学士・修士の学位を有している者あるいは専門学校等で専門知識を習得し、企業等で実務経験を有する者 ・希望する課題によって、プログラミング、薄膜工学、真空工学、材料工学、物理化学等の関連する専門分野を必ず1つ有すること	
7	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は本学において定める年俸制とする。	
8	応 募 期 間	2021年4月7日 ～ 2021年5月31日 （ただし、採用者が決まり次第終了します。）	
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1)履歴書（形式自由、写真添付、e-mailアドレスを含む連絡先） 2)現在までの研究等（①研究開発実績（期間と成果を記載・専門学校や企業での開発も記載）、②卒業論文等の要約A4で1枚、③査読付論文リスト、④国際会議論文リスト、⑥特許リスト、⑦受賞、⑧その他に分けて記載。） 3)所見を求めることができる方（2名）の氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、e-mailアドレス） 1)～3)の印刷物一式と全てのPDFファイルをUSBメモリもしくはCDに格納し	

		<p>たもの応募期間内（必着）に以下へ郵送。</p> <p>〒464-8603 名古屋市千種区不老町 未来社会創造機構 齋藤 永宏</p> <p>saito@nagoya-u.jp</p>
		<p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、e-mail で連絡を行う。
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。